

病虫害発生予察 5 月 月 報

5月の気象表(長野地方気象台発表)

官 署		平均気温 ℃			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	15.2	17.0	19.7	7.0	17.5	34.5	71.1	71.0	82.3
	平年	15.1	15.5	17.1	23.2	31.5	20.4	69.9	60.8	76.6
松 本	本年	16.0	17.2	19.7	10.0	23.0	39.5	72.5	71.1	88.2
	平年	15.2	15.6	17.0	27.5	39.0	33.5	69.5	62.7	76.5
諏 訪	本年	14.7	16.2	19.0	10.0	18.5	36.0	67.4	75.6	83.1
	平年	14.1	14.7	16.2	34.5	44.1	35.3	66.6	62.6	76.1
軽井沢	本年	11.9	12.7	15.7	3.0	32.0	34.5	76.7	58.9	81.2
	平年	11.0	11.5	12.9	29.6	43.8	37.3	63.5	57.2	70.6
飯 田	本年	15.9	17.5	19.9	20.0	22.0	25.5	57.2	59.6	91.3
	平年	15.5	16.1	17.5	50.1	62.5	45.9	62.3	58.5	73.5

この期間は、低気圧は日本の北と南海上を通過することが多く、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高く、降水量は少なくなりました。

1 麦

(1) 生育概況

大麦、小麦の生育は、平年に比べて3日程度進んでいる。

(2) 病虫害の発生状況

1) 麦類赤かび病

5月下旬時点での発生は、平年に比べて少ない傾向であった。

2) さび病

5月下旬頃から6月にかけて県南部や県北部地域で発生が目立つほ場もみられた。

3) うどんこ病

平年に比べ、発生時期は早く、平均病斑面積歩合は低いが発生地点率は高く、県中南部地域での発生が目立った。

4) コムギ縮萎病、コムギ萎縮病(ムギ類萎縮病)

本年の発生面積は、過去8年間と比べて少ない。

2 水 稻

(1) 病虫害の発生状況

1) 育苗期の細菌性病害

全般に平年並からやや少ない発生であった。

2) 苗立枯病

全般に平年並からやや少ない発生であった。

3) ニカメイチュウ

小布施町におけるフェロモントラップへの誘殺は、6月1半旬まで確認されていない。近年、県内ではニカメイチュウの発生は少ない傾向で推移している。

第1表 ニカメイチュウ越冬世代成虫のフェロモントラップ誘殺消長(小布施町)

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6	6・1	6・2
平成1年～ 28年の平均	0.5	0.5	2.8	8.8	23.3	39.3	82.8	128.4
平 年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.5	0.9
本 年	0	0	0	0	0	0	0	0

\*平年は平成19年～平成28年(過去10年)の平均

4) イネミズゾウムシ

アメダス気温データから算出した越冬地からの半数脱出推定時期は、上田、では平年よりやや早く、諏訪、飯田、木曽福島、松本、長野では平年並であった。6月上旬の越冬成虫発生量は平年並、被害程度は平年に比べやや低かった。

第2表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の越冬地からの半数脱出推定時期

	上田	諏訪	飯田	木曽福島	松本	長野
平 年	5/12	5/23	5/11	5/21	5/12	5/13
本 年	5/9	5/21	5/12	5/21	5/11	5/12
平年差	-3日	-2日	1日	0日	-1日	-1日

\*平年は平成19年～平成28年(過去10年)の平均

3 りんご

(1) 生育概況

6月1日の果実肥大は、平年並みである。

第1表 りんごの果実肥大状況(須坂市:果樹試験場)

単位:mm、%

	つがる								ふ じ							
調査 日	縦 径				横 径				縦 径				横 径			
	本年	比	平年	前年	本年	比	平年	前年	本年	比	平年	前年	本年	比	平年	前年
6/1	27.8	99	27.9	32.3	29.0	102	28.3	34.3	27.1	100	27.2	31.8	27.0	10.4	26.1	34.6

平年は平成14年～平成27年の平均値

(2) 病害虫の発生状況

1) うどんこ病

被害葉そうが各調査ほ場でみられ、全般に発生が多かった。

2) 斑点落葉病

巡回調査ほでは発生はみられなかった。

3) 黒 星 病

巡回調査ほでは発生はみられなかった。

4) 赤 星 病

巡回調査ほでは発生はみられなかった。

5) 腐 ら ん 病

胴腐らん、枝腐らんの発生が多く、園地でみられた。

6) ハ ダ ニ 類

5月下旬調査では、一部で寄生がみられたが前年よりは少なかった。

7) キンモンホソガ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長 (須坂市：果樹試験場)

月・半旬	5・1	2	3	4	5	6
平 年	4.7	1.5	1.0	0.4	0.2	4.1
本 年	0	1	0	2	0	4

平年は2007～2016の平均値

8) ハマキムシ類

寄生葉が散見されたほ場はあったが、全般に平年並の発生と推測された。

9) ナシヒメシンクイ

巡回調査ほでは寄生はみられなかった。全般に平年並の発生と推測された。

10) アブラムシ類

寄生葉が多く散見された。主な寄生種はリンゴクビレアブラムシ、ユキヤナギアブラムシであった。

11) ギンモンハモグリガ

巡回調査ほでは、一部のほ場で寄生葉がみられた程度であり、全般に平年並の発生と推測された。

4

なし

(1) 生育概況

6月1日までの果実肥大は、各品種とも平年やや小さい。

第1表 なしの果実肥大状況 (高森町：南信農業試験場) 単位：mm

品 種	区分	5月15日		6月1日		6月15日		7月1日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	15.6	17.1	25.7	25.5	32.2	30.7	38.3	35.5
	前年	20.2	22.6	28.9	29.5	33.9	33.2	41.5	39.2
	本年	11.7	12.4	24.4	22.6				
幸 水	平年	14.5	14.0	25.1	22.1	32.5	27.8	40.6	33.8
	前年	19.9	18.5	31.9	28.1	39.6	34.1	49.7	41.7
	本年	10.4	10.9	23.1	19.5				
豊 水	平年	17.3	18.2	26.8	25.8	33.3	31.3	40.3	37.1
	前年	21.8	21.9	32.4	30.5	39.1	36.2	47.9	43.6
	本年	14.2	14.8	24.8	23.2				

平年は1990～2010年の平均値 (幸水は長果枝と短果枝の平均)

(2) 病害虫の発生状況

1) 黒斑病

県予察ほでの発生は遅れている。

第2表 越冬病斑上の分生子形成度 (高森町：南信農業試験場)

半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	16.8	14.4	20.1	21.7	29.9	26.8	23.7	28.2	35.2	32.1	30.6	40.5
前年	16.7	—	13.3	10.0	35.0	38.3	20.0	18.3	41.7	31.7	23.3	58.3
本年	23.3	20.0	25.0	28.6	26.7	16.7	16.7	23.3	46.7	33.3	25.0	56.7

値100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態

平年は過去10年平均値

第3表 アルタナリア属菌の分生孢子捕捉数 (高森町：南信農業試験場)

半旬	5月						6月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	2.1	3.7	5.4	5.6	6.0	11.0	13.0	16.5	32.9	25.8	27.2	15.3
前年	0	1	1	0	1	17	15	15	27	36	1	27
本年	0	1	6	7	7	4	2	35				

18mm×18mm当たりの孢子数 (個)

平年は過去10年の平均値

第4表 ナシ黒斑病、果実の発病南（信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布）

	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.1	0.2	1.3	2.6	12.5
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0
本年	0.0	0.0	0.0	0.0		

平年は過去10年平均値

第5表 ナシ黒斑病、新梢葉の発病（南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布樹）

	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.1	0.2	1.2	5.2	8.3	13.3
前年	0.0	0.0	0.7	5.8	5.6	8.2
本年	0.0	0.0	0.0	0.0		

平年は過去10年平均値

## 2) 黒星病

巡回調査ほでの発生はみられなかった。県予察ほでは5月上旬に果実発病が認められ、以降、増加しているが、平年に比べ少ない。

第6表 ナシ黒星病菌子のう胞子飛散消長（高森町：南信農業試験場）

半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	10.9	130.4	860.7	1416.1	5674.1	5629.3	3189.8	5040.2	3500.5	1904.4	860.9	210.4
前年	27	4	188	630	2265	2307	1049	1523	136	14	0	3
本年	0	11	3	233	1	653	242	2702	553	1	340	192

平年は過去10年平均値

第7表 ナシ黒星病、果実の発病（高森町：南信農業試験場）

	4月	5月				6月	
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	—	9.6	26.9	36.1	39.1	42.5	53.4
前年	0.0	1.1	48.3	59.6	62.7	79.3	78.5
本年	—	0.0	6.5	12.0	24.5		

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査 平年は過去10年平均値

第8表 ナシ黒星病、果そう葉の発病（高森町：南信農業試験場）

	4 月	5 月				6 月		
	25 日	5 日	15 日	25 日	5 日	15 日	25 日	
平年	—	1.1	3.9	21.2	38.4	50.9	58.0	
前年	0.0	0.0	6.1	33.3	64.3	88.8	85.7	
本年	0.0	0.0	0.0	2.0	4.7			

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査 平年は過去10年平均値

## 3) 赤星病

巡回調査ほでの発病はみられなかった。

## 4) ハダニ類

巡回調査ほではナミハダニの果そう葉への寄生は認められなかった。

## 5) リンゴコカクモンハマキ

南信農業試験場では6月第1半旬が誘殺のピークだった。

第9表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	5・1	2	3	4	5	6	6・1	2
平年	0	0	0.1	0.2	1.3	0.7	1.9	1.3
前年	0	0	0.5	1	9	1.5	0.5	0.5
本年	0	0	0	0	0	3	3	1.5

## 6) ナシヒメシンクイ

南信農業試験場での越冬世代成虫の発生盛期は5月第1半旬で平年とほぼ同等であった。巡回調査ほでは、芯折れは認められなかった。

第10表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	4・4	5	6	5・1	2	3	4	5	6	6・1	2
平年	2.7	4.5	4.6	5.8	3.2	1.2	1.5	0.6	0.3	0.1	0.4
前年	2.5	6.5	0.5	1	0.5	0	0.5	0	0	0.5	0.5
本年	0	5.5	1.5	6.8	4.2	1.5	0	0	0	0	0

平年は過去10年平均値

## 7) カメムシ類

南信農業試験場でのカメムシ類の誘殺は認められなかった。

第11表 カメムシ類の誘殺状況（高森町：南信農業試験場）

月・半 旬		5・1	2	3	4	5	6	6・1	2
クサギ	平年	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	前年	0	0	0	0	0	0	0	1
	本年	0	0	0	0	0	0	0	0
チャバネ	平年	0	0.5	0	0.3	0.7	0.4	1.3	1.5
	前年	0	0	0	0	3	0	1	3
	本年	0	0	0	0	0	0	0	0

## 5 もも

### (1) 生育概況

6月8日までの果実肥大は、白鳳及び川中島白桃は平年よりやや大きい傾向である。

第1表 ももの生育状況（須坂市：果樹試験場）

品種	月日	縦径(mm)			横径(mm)			側径(mm)			指 数		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
白 鳳	6/1	31.1	45.7	30.7	27.0	40.9	26.1	23.0	34.9	22.0	7.8	17.4	7.7
	6/8	39.2	49.2	38.2	35.9	45.8	34.5	31.6	40.2	29.7	13.2	21.2	12.5
川中島	6/1	34.5	41.6	31.2	30.0	38.1	26.7	25.4	32.7	22.4	9.6	14.7	8.0
白桃	6/8	41.5	44.8	38.5	38.5	42.9	35.3	33.5	38.0	30.2	15.0	18.1	12.8

平年値：白鳳(昭和56年～平成28年の平均) 川中島白桃(昭和60年～平成28年の平均)

指数＝縦径×（横径＋側径）／2／100

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) せん孔細菌病

5月上旬及び下旬の調査では、発病葉みられなかった。

#### 2) 縮 葉 病

5月上旬の巡回で、一部は場において発生がみられた。

#### 3) ハダニ類

巡回調査ほでは、寄生がみられなかった。

#### 4) モモハモグリガ

5月上旬及び下旬の巡回調査では、寄生葉はみられなかった。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（須坂市：果樹試験場）

月・半旬	5・1	2	3	4	5	6
平 年	40.6	10.1	6.4	4.8	4.8	27.2
前 年	0	0	0	0	1	0
本 年	0	2	2	2	1	6

平年値は平成19年～平成28年の平均

### 5) アブラムシ類

平年並の発生であると推測された。

### 6) カメムシ類

巡回調査ほで、飛来はみられなかった。

## 6 ぶどう

### (1) 生育概況

満開期は、平年より7日早かった。

第1表 ぶどうの生育状況（須坂市：果樹試験場）

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
巨 峰	平年	4/25	4/30	6/ 8	6/11	6/14
	前年	4/20	4/25	5/31	6/ 4	6/ 7
	本年	4/26	5/ 3	6/8	6/11	6/15

平年値は昭和56年～平成22年の平均

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) 灰色かび病

巡回調査では、発生はみられなかった。

#### 2) ベ と 病

巡回調査では、発生はみられなかった。

#### 3) ブドウトラカミキリ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

#### 4) ブドウスカシバ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

## 7 野菜・花き

### (1) 生育概況

5月の気温がかなり高くなったところが多かった。降水量は上旬と中旬では少雨となったところが多かった。下旬は北信地域で降水量が多いところがあったが、ほとんどの地域では平年並であった。作物の生育はほぼ平年並であった。

## (2) 病害虫の発生状況

### 1) タマネギ

病害では、べと病が5月下旬の巡回調査で北信地区のほ場でみられたが、中信地区のほ場では病害の発生はみられなかった。

虫害では、アザミウマ類が中信地区のほ場で、5月下旬の巡回調査で多発生であった。ハモグリバエ類が、5月下旬の巡回調査で中信地区のほ場でみられた。

### 2) きゅうり

病害では、べと病が、北信地区のほ場（施設）で、5月上旬及び下旬の巡回調査でみられた。うどんこ病が、北信地区のほ場（施設）で4月の巡回調査に引き続いてみられ、中信地区のほ場（施設）でも5月下旬の巡回調査でみられた。灰色かび病が、中信地区のほ場（施設）で5月下旬の巡回調査でみられた。

虫害では、アザミウマ類が中信地区のほ場（施設）で、5月上旬及び下旬の巡回調査でみられた。

オンシツコナジラミが中信のほ場（施設）で、5月上旬及び下旬の巡回調査でみられた。

アブラムシ類が中信及び南信のほ場（施設）で、4月の巡回調査に引き続いてみられた。

### 3) レタスの病害

腐敗病が中信地区のほ場で、5月上旬及び下旬の巡回調査でみられた。

灰色かび病及びすそ枯病が中信地区のほ場で、5月下旬の巡回調査でみられた。

### 4) はくさい、キャベツ、ブロッコリーの病害

5月上旬及び下旬の巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

### 5) コナガ（アブラナ科野菜）

フェロモントラップの初発生の時期及び誘殺数は、全般に平年並であったが、野菜花き試験場佐久支場（小諸市）では第3～4半旬にかけて誘殺数が急増した。

第1表 フェロモントラップによるコナガ誘殺消長

	月・半旬5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市（野菜花き試験場）	6	11	26	19	25	12
小諸市（同 佐久支場）	7	5	18	38	20	10
東筑摩郡朝日村（地区発生予察ほ）	1	0	0	3	0	2
長野市（地区発生予察ほ）	—	1	39	56	68	70
上田市（地区発生予察ほ）	0	0	0	0	0	0
諏訪郡原村（防除適期決定ほ）	0	1	2	11	24	11

### 7) オオタバコガ

越冬世代成虫の初誘殺は、野菜花き試験場（塩尻市）では平年より1半旬遅い5月第2半旬、野菜花き試験場佐久支場（小諸市）では平年並の5月第1半旬であった。巡回調査では、現在までのところ被害を確認していない。

第2表 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長

	月・半旬5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市（野菜花き試験場）	0	3	2	3	9	—
小諸市（同 佐久支場）	1	2	1	5	5	12
須坂市（農業試験場）	0	1	0	0	0	0

### 8) ヨトウ類

ヨトウガのフェロモントラップへの誘殺は野菜花き試験場内（塩尻市）では5月第2半旬から、農業試験場（須坂市）では5月第1半旬から確認された（第3表）。

ハスモンヨトウは、野菜花き試験場内（塩尻市）、農業試験場（須坂市）では誘殺されなかったが、上田市の地区発生予察ほでは5月第5半旬に誘殺された（第4表）。シロイチモジヨトウの誘殺はみられなかった（第5表）。

第3表 フェロモントラップによるヨトウガ誘殺消長

	月・半旬5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市（野菜花き試験場）	0	1	0	0	0	0
須坂市（農業試験場）	1	1	4	4	3	0

第4表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺消長

	月・半旬5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市（野菜花き試験場）	0	0	0	0	0	0
須坂市（農業試験場）	0	0	0	0	0	0
上田市（地区発生予察ほ）	0	0	0	0	2	0

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ誘殺消長

	月・半旬5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市（野菜花き試験場）	0	0	0	0	0	0
須坂市（農業試験場）	0	0	0	0	0	0

#### 8) ジュウシホシクビナガハムシ（アスパラガス）

巡回調査では発生はみられなかった巡回調査では発生はみられなかったが、県予察圃（野菜花き試験場、塩尻市）では成虫、幼虫の発生が認められた。

#### 9) アブラムシ類（野菜・花き全般）

中信地区の施設栽培きゅうりの巡回調査ほ場では4月から引き続いて発生がみられた。5月下旬の巡回調査では中信地区のジュース用トマト、キャベツ、ブロッコリーで発生がみられた。

第6表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の飛来消長  
(地区発生予察ほ)

	月・半旬5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
富士見町（キク）	1	4	2	14	24	12
塩尻市洗馬（レタス）	11	4	8	34	23	47
長野市（キャベツ）	0	2	4	8	17	35

#### 10) ハモグリバエ類（野菜・花き全般）

5月上旬の巡回調査では、中信地区のセルリーで発生がみられた。

5月下旬の巡回調査では、中信地区のたまねぎ、東信及び中信地区のレタス、中信及び南信地区のネギで発生がみられた。

#### 11) アザミウマ類（野菜・花き全般）

5月下旬の巡回調査において、北信地域の施設栽培きゅうり・中信地区のたまねぎ及び南信地区のねぎにおいて発生が目立った。

第7表 青色粘着トラップによるアザミウマ類有翅虫の飛来消長  
(地区発生予察ほ)

	月・半旬5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
富士見町（キク）	0	0	0	0	1	3
塩尻市（レタス）	0	0	9	8	2	2